

夕刊

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話(呼) 二〇三八番
編集人 後藤幸夫
印刷 丸山徳平
毎週水曜日休刊 購料
一ヶ月三十四円 郵一四

市と郡を通じ

縣稅滯納一億圓突破

整理は相當困難が豫想

石城地方事務所に於ける二十四年度の縣稅調定額は一億八千九百九十一萬三千四百七十二圓でこれに對し現在迄の納稅額は一億七百四十五萬九千六百五圓で差引滯納は八千二百四十五圓となつてゐるがこの外平市の分が千九百四十二萬圓滯納あるので合計は一億を突破してゐるこれは極端な金詰りが一般商店界から農村を見舞つての結果で今後この一億圓の整理には相當の困難が豫想されてゐる

配給のウドン

半分は辞退

結局勞務用に廻る

食糧が豊富に出廻ると共にのころ一般家庭から敬遠主食が毎月米だけで二十日炭礦その他の勞務加配に振り向けるより外にはう法がなく現在のところでは相當苦しかつた時の事を忘れていろいろぐぜいたくを並べているが最近一番嫌われたのは現在配給中の色の淺黒いウドンで平市内の各配給とも半分は辭退されてゐるこれには元締の食糧公園でも悲鳴をあげてゐるが結局

お米配給六日
白い粉が二日分
三月中旬の平市の主食配給は米が六日分押むぎ二日分後の二日分は白い小むぎ粉である

第二波後の
闘争針を協議
炭礦協会は十四日午前十時から炭礦會館で第二波に對する闘争針を協議し並に炭礦全國大會等に就て協議する

殉難者の法要
平戰災者救済同盟會では十日長橋町性源寺で殉難者追悼法要を営み剰余金三千圓を民生助成會に寄附した

配給ウドン粉は

今後白いものばかり

パンに加工しても黒く、ウドンの配給(三月十二日以降)に加工すれば黒い上(から)白い粉に生れ變るのボソくたというので一般でこんどこそ主婦はむろ家庭から嫌われていたこれん家人からもよろこばれま迄の小むぎ粉は遂に配給面す……ヨとは食糧公園平支から麥を消しよくこん所員の話

大クジラ水揚?

小名濱で見物人が黒山

江名町北町船主中田宇之助さん所有第二諏訪丸は昨日十日豊間沖合で漁業中漂流してゐるまつこ(鯨)長六間 時價三十萬圓)相當を發見した

木炭統制廢止後

生産は若干落ちる

木炭のワクもいよ／＼今月込みであるがワクが外れた下旬頃には工つ磨される見後の生産業はどうなるか優秀な兒童、生徒に對する

……に就て小の某生産業者に聞いて見たら統制廢止後は運賃のプー計算もなく資金の運轉もグツと落ちるから非常にかしこうした事は統制がにやりにくくなる、といふ事だ。半年なり十月なり過ぎてう事はプー計算でない半ば資金の運轉が口滑にだけは近きよ離の消費地再び資金の運轉が口滑にいは安くなり速ほうはそのけは自然と生産は増して割に高く賣れないまた生きたらうと語つていた

大阪造船など

さよう一時間停電

電産分會の停電ストは十日午後一時から一時間大阪造船、吳羽化學、磐城セメント、日本福電工業の五工場に對し行はれたが十五日の一般家庭等も含む第二波は支部からの指令がない爲まはつきりしてゐない

配給便り

二十四年度、第四四半期分板硝子(最高一戸當り五十平方呎)を十三日、物資購入通帳と印鑑を持ち参して市經濟課に申込み事

平市人事

出 生
永島道雄さん長男哲朗ちゃん一六工町一四
中條清さん三女貴美ちゃん一六工町一四
大槻房市さん長男惠造ちゃん一六工町一四
死 亡
首田光子さん(二〇)新川町一〇

善行者表彰

今月下旬頃舉行道義高揚強調の月間實施に當つて行はれた善行者及び綴方の成績優秀な兒童、生徒に對する

してたので、十日石城地方事務所から若い係員が督促に來た、主人は金詰りによる營業の苦しい状態を説明し三萬圓に對して苦心して調達した二萬圓を差し出して残額は急速に納入するからと分割分納を懇請したがこれに對し係員は「上役からの話してそんな事は絶体に出來ない」と二倍もな斷つた、その爲氏は遂に莫大な延滞利子を負擔するようになった、税は何税によらず指定の期日迄に納むべきであり原則として分納などゆるされべきでない位の事は何も承知してゐるし、しかし現在のように深刻な金詰りでは分納もまた止むを得ない事であらうと思ふ、しかるにそれを聞き容れず、徒らに利子の負擔を強いるような事は徴稅の精神にもどるのではあるまいか、吾人は納稅者全部に分納をゆるせといふのではなく分納も時と場合によつて認められたいというのである、假りに分納に對し縣にそうした取扱規定がなく従つて事務所決定権がないといふなら、百パーセントの徵稅成績を見る上から縣に上申してその途を拓くべきであらう、

